

令和 4 年 7 月 28 日  
 千葉県健康福祉部疾病対策課  
 043-223-2574

## 感染症予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（血清型不明）		
住所	東京都	年齢・性別	27歳・女性
職業等	医療機関職員	症状等	溶血性尿毒症症候群（HUS）、腹痛、水溶性下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全等
発病年月日	令和4年7月10日	届出年月日	令和4年7月25日

東京都在住の27歳の女性が、腹痛、下痢等の症状を呈し、松戸市内の医療機関に入院し、腸管出血性大腸菌感染症及び溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断され、松戸保健所に発生届が提出された。

なお、現在、患者は入院中であるが、快方に向かっている。

## 〔患者発生の経過〕

- 7月10日 下痢。
- 7月13日 症状継続のため、東京都内の医療機関 A を受診。  
整腸剤等を処方される。
- 7月14日 血便があり、松戸市内医療機関 B を受診し、そのまま入院。  
便検査を実施。その後、陰性を確認。
- 7月23日 血液を用いた検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症及び溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断される。
- 7月25日 松戸保健所に腸管出血性大腸菌感染症の発生届が提出される。

## 〔県民の皆様へ〕

- 調理や食事の前、動物や土に触った後には、必ずせっけんを使用して十分に手を洗いましょう。
- 肉を調理する場合は、中心部まで十分に加熱しましょう。また、「生肉を扱う調理用の箸やトング」と「焼けた肉を扱う食事用の箸やトング」とを必ず分けましょう。
- 溶血性尿毒症症候群（HUS）など非常に重症な状態になる場合もありますので、下痢、血便等の症状がみられた時は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 社会福祉施設、介護保険施設、学校等においては、日頃から施設利用者等の健康管理に注意しましょう。

## 【参考】

### 腸管出血性大腸菌とは

#### 1 感染経路

- 腸管出血性大腸菌は牛など家畜の腸管内にすることがあり、その糞便で汚染された食品や、糞便で汚染された場所を触った手指から経口的に感染する。

#### 2 腸管出血性大腸菌とは

- 腸管出血性大腸菌感染症は O157, O26 が主な原因であり、その他には O111, O121, O145 などがある。

#### 3 潜伏期間

- 2～5 日がもっとも多い。

#### 4 症状

- 水様便から血便まで見られる。
- 嘔吐
- 溶血性尿毒症症候群（HUS）になる場合もある。

#### \*HUS とは

溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害の 3 主徴をもって診断する。一般に HUS は腸管出血性大腸菌感染症の患者の約 1～10%に発症し、下痢あるいは発熱出現後 4～10 日に発症することが多い。

#### 5 治療

- 対症療法
- 脱水に対する処置
- 抗菌薬療法

#### 6 年別発生状況（腸管出血性大腸菌感染症届出数）

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
千葉県	213	148	124	131	70
全 国	3,854	3,744	3,088	3,236	1,154

※千葉県分は 1 月 1 日～7 月 27 日までの累計(本件を含む)。全国分は 7 月 17 日現在。